

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2021年4月1日～2024年5月31日の期間に当院にて尿路感染症(血液培養陽性)と診断され、抗微生物薬治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	ESBL 産生腸内細菌菌血症の尿路感染症における経口抗菌薬の現状と評価			
③ 実施予定期間	2025 年 7 月 ~ 2027 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	首藤毅	所属	呉医療センター 感染対策部 部長
⑥ 当院の研究責任者	氏名	首藤毅	所属	呉医療センター 感染対策部 部長
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、既往歴、入院の契機となった疾患名、感染臓器、血液培養陽性の菌種、使用の点滴と経口抗菌薬、体温、採血結果、治療転帰、開始日・治療終了日、再発の有無・再発確認日・再発治療・最終生存確認日、抗菌薬適正使用支援チームの介入に至った端緒、など。 ※上記診療情報は、研究終了まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者において保管されます。			
⑧ 目的	超高齢化社会に伴う疾病構造の変化や医療技術の進歩により、医療は専門的・高度化・複雑化が進んでいます。また、全世界的に薬剤耐性菌の蔓延により、使用できる抗微生物薬が限られています。その薬剤耐性菌の1つに、基質特異性拡張型βラクタマーゼ(ESBL)産生腸内細菌科細菌が挙げられ、ここ数年で急増しています。有効性が担保された点滴抗菌薬の報告は多く見られますが、経口抗菌薬についての報告は少ないのが現状です。尿路感染症は、腸内細菌科細菌が起因菌となることが多く、治療途中で内服治療へスイッチすることも多い感染症の1つです。本研究において、当院における「ESBL産生菌血症の尿路感染症における経口抗菌薬の現状と有効性」について評価します。			
⑨ 方法	①に記載している対象患者さんの、⑦に記載の診療情報をカルテより抽出し、データの解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025 年 7 月 17 日		
	院長承認日	2025 年 7 月 17 日		
⑪公表	個人情報保護のうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	高田正弘	電話	0823-22-3111 (代表)
	国立病院機構呉医療センター 感染対策部			

呉医療センター院長